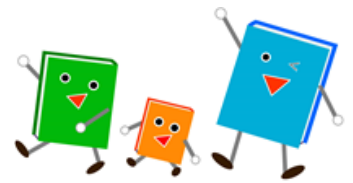


子ども図書館おすすめの本

～令和元年秋～



幼稚園・保育所

	題名等	表紙	内容
1	「ばけばけ はっぱ」 ふじもと ともひこ／さく・え ハッピーオウル社		落ち葉や木の葉でいろいろな動物を作った、写真絵本です。はじめは動物の一部しか見えていないので、何の動物がかくれているか想像します。次のページを開くと、動物全体の姿がわかるようになっています。かくれんぼのような感覚で楽しめる本です。
2	「14ひきのあきまつり」 いわむら かずお／さく・え 童心社		すっかり秋の色に染まった森の中。子どもたちとおばあちゃんはかくれんぼをします。みんなが次々に見つけていく中、ろっくんが見つからない。いったい、どこにかくれたの？ろっくんを探しながら、どんどん森の奥へと入っていくと、そこには…！？
3	「もりのかくれんぼう」 すえよし あきこ 末吉 暁子／さく はやし あきこ 林 明子／え かいせいしゃ 借成社		主人公の「けいこ」は、森の中へ迷い込み、出会ったいろいろな動物とかくれんぼうを始めます。最初のおには「けいこ」。さあ、「けいこ」といっしょに、上手にかくれた動物たちを見つけていきましょう。黄色、赤、茶色に色づいた葉や木の枝の間を探してみましよう。

小学校 1年生、2年生



	題名等	表紙	内容
1	「ばあばは、だいじょうぶ」 くすのき あきこ 楠 章子／さく いしい つとむ／え 童心社		小学生のつばさは、いつも「だいじょうぶだよ」と言ってくれるやさしいばあばが大好き。でもばあばが「わすれてしまう」病気になる、つばさはとまどってしまいます。ある日、ばあばが家からいなくなってしまう…
2	「一冊のおくりもの」 もりやま みやこ 森山 京／さく かました じゅん 嶋下 潤／え こうだんしゃ 講談社		「かいらのおくりもの」はクマのクマタのお氣にのりのえほん。まいにち、こえにだしてよむのです。でも大雨で水びたしになったふかみどり村のおともだちにえほんをあげてしまい、クマタはさびしい気もちになります…

3	<p>「パパはステキな男のおばさん」 <small>おいしい むつみ</small> 石井 睦美／ぶん <small>あおき ひろえ</small>／え <small>しゅつぱん</small> BL出版</p>		<p><small>しょうがくにねんせい</small> 小学二年生のまりは、ともだちに「まりちゃんのパパ、おばさんみたい」と言われ、ママが会社ではたいていて、パパが家でおりょうりやそうじをしてくれるのと、どっちがいいか考えています。まえはそんなこと、ちっとも気にならなかったのに。</p>
---	---	--	--

小学校3年生、4年生

	題 名 等	表 紙	内 容
1	<p>「小さい魔女」 <small>オトフリート＝プロイスラー</small> <small>／さく</small> <small>おおつか ゆうぞう</small> 大塚 勇三／やく <small>がっけん</small> 学研プラス</p>		<p>127歳の若くて小さい魔女は、失敗が多くてドジですが、「よい魔女」になるために一生懸命魔法を勉強して、こまった人や動物を助けます。小さい魔女は、はたして1年後の魔法の試験に合格することができるのでしょうか？</p>
2	<p>「チョコレート戦争」 <small>おおいし まこと</small> 大石 真／さく <small>きただ たくし</small> 北田 卓史／え <small>りろんしゃ</small> 理論社</p>		<p>その美味しさで町中の人をとりこにする洋菓子店の金泉堂。子どもたちは自分たちの名誉のため、金泉堂のショーウィンドーからチョコレートの城を盗み出す計画を立てます。大人VS 子どもの戦いの行方は？！</p>
3	<p>「花さき山」 <small>さいとう りゅうすけ</small> 斎藤 隆介／さく <small>たきだいら じろう</small> 滝平 二郎／え <small>いわさましてん</small> 岩崎書店</p>		<p>花さき山では、人間がやさしいことをする度に花が咲きます。今までに咲いた花、昨日咲いたばかりの花、今まさにひらこうとする花。それぞれが人のやさしさによって美しく咲いています。きっと今日もたくさんの花が咲くでしょう。</p>

小学校5年生、6年生

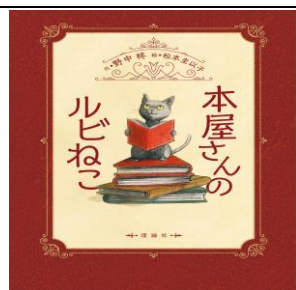
	題 名 等	表 紙	内 容
1	<p>「いつでも会える」 <small>菊田 まりこ</small>／著 学研プラス</p>		<p>ずっと一緒にいられると思っていた、大好きな飼い主・みきちちゃんを亡くした犬のシロ。「名前を呼んで。頭をなでて。」さみしくて、悲しくて、みきちちゃんに会いたいシロが、悲しみを乗り越えていく姿が描かれています。</p>
2	<p>「ともだちは緑のにおい」 <small>工藤 直子</small>／作 <small>長 新太</small>／絵 理論社</p>		<p>太陽が、緑いろの地球にむかって呼びかけます。「いっしょにあそぶもの このゆび とまれ」 緑が広がる草原での、ライオンとかたつむりとロバの友情物語です。だれかといっしょに散歩すると、ひとりの時よりもいろんな景色が見えて、楽しみが広がりますね。</p>

3 「本屋さんのルビねこ」

野中 柊／作

松本 圭以子／絵

理論社



ある日、本屋さんのかたすみで、本につもったほこりから小さな猫が生まれました。「ルビ」と名付けられた子猫が、たくさんの「はじめて」に出会いながら成長していきます。お店の看板猫となった「ルビ」が、面白い本を紹介してくれたら素敵ですね。